

建築史 9:30～10:15 (試験時間45分・全5問)

設問1:

「日本の都市類型の変遷」について600字以内で説明しなさい。ただし、記述にあたっては【条坊制・城下町・在郷町・市区改正】の四つの述語を必ず全て用いること。

設問2:

古代ギリシア・ローマの建築が、古典主義建築として初期ルネッサンス期に再評価された要因について簡潔に述べなさい。(800字)

設問3:

「日本の住宅建築様式の変遷」について600字以内で説明しなさい。ただし、記述にあたっては、【寝殿造・書院造・中廊下型住宅・公団51C型】の4つの述語を必ず全て用いること。

設問4:

初期ルネッサンス期後に、盛期ルネッサンス、マニエリスム、バロック、新古典主義へと変容していった過程について簡潔に述べなさい(800字)

設問5:

「近代における建築の日本的表現」について800字以内で論じなさい。ただし【帝国議会議事堂・帝冠様式・吉田五十八・丹下健三】の4つを必ず全て用いること。

※この試験はGoogle classroomを使ったオンライン形式で実施されました

英語 11:15～12:00(試験時間45分)

問題:

添付の問題用紙「2020英語問題」を表示し、[問1][問2][問3]にそれぞれ答えること。  
なお、各問に書かれている配点(00点/100点)に留意して、時間を配分すること。

問1:

問題文にある下線部(1)を日本語に訳しなさい(20点/100点)

問2:

問題文にある下線部(2)を日本語に訳しなさい(20点/100点)

問3:

上記の文章は、1970年代に行われた講義に基づいて書かれたものですが、現在の状況にも当てはま  
ります。文中にある‘reconquered street’や‘communal living room’に対する建築的提案を、英語で記  
述しなさい。提案は実在のstreetを対象とすることとし、以下の内容を必ず含むこと。文字数の制限はな  
いが、100ワード程度を目安とする。(60点/100点)

- ・location
- ・size / width / length
- ・name (if any)
- ・current situation / traffic / pedestrian
- ・your idea
- ・how it change with your idea

※この試験はGoogle classroomを使ったオンライン形式で実施されました

以下文章を読んで、下記問いに答えなさい。(制限時間 45 分)

‘Beyond our front door or garden gate a world we have little to do with begins, a world upon which we can generate hardly any influence. <sup>(1)</sup>There is a growing feeling that the world beyond the front door is a hostile world of vandalism and aggression, where we feel frightened rather than at home. If we take this widespread feeling as the point of starting for urban planning, it would be fatal.

Surely it is far better to go back to the optimistic and utopian concept of ‘reconquered street’, which we could see so clearly less than two decades ago. In this view, inspired by the post-war existentialistic\* zest\*\* for life <sup>(2)</sup> the street is again understood as what it must have been originally, in other words as the place where social contact between local residents can be established: as ‘a communal living-room’, as it were.’

\*Existentialistic 実存主義者のな

\*\*Zest 熱意

(出題にあたって文意を損なわない範囲で語句の変更を行っています)

問1. 下線部(1)を日本語に訳しなさい。(20点/100点)

問2. 下線部(2)を日本語に訳しなさい。(20点/100点)

問3. 上記の文章は、1970年代に行われた講義に基づいて書かれたものですが、現在の状況にも当てはまります。文中にある‘reconquered street’や‘communal living room’に対する建築的提案を、英語で記述しなさい。提案は実在のstreetを対象とすることとし、以下の内容を必ず含むこと。文字数の制限はないが、100ワード程度を目安とする。(60点/100点)

- location
- size / width / length
- name (if any)
- current situation / traffic / pedestrian
- your idea
- how it change with your idea

構造力学 13:00-13:45(試験時間45分)

- 解答は、PDFの解答フォーマットを参考に、A4用紙に書きなさい。
- 試験終了後、指示に従って解答用紙を撮影し、以下のメールアドレスに送付すること。

※

archi@exam.geidai.ac.jp

件名は受験番号とすること(例 構造000)。

cc欄に自分のメールアドレスを入力し、受領確認をすること。

※

この試験はGoogle classroomを使ったオンライン形式で実施されました



研究分野	受験番号	

令和3年度 東京芸術大学大学院美術研究科建築専攻 修士課程選抜試験 [構造力学]  
解答用紙

[1] 架構の応力と変形

(1)(10点 x 6 = 60点)

	A	B	C
M図			
変形図			

(2) (1)-Bの解き方について記述せよ。(40点)

令和3年度 東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻 修士課程選抜試験 [設計実技試験]

10:00～16:00

**【課題】** フォームとファンクションの同時設計

いくつかの職種がかみ合って、30人ほどで運営され、一日に100人から300人が訪れる建築を設計しなさい。

ただし、延床面積の半分が地下にあり、半分が地上にあるものとする。

敷地、機能は自由。

その建築にふさわしい敷地と周辺環境、またその機能を各自、考案すること。

**【提出物】**

① 以下を、A1判ケント紙1枚にまとめる。縦横自由。着彩自由。縮尺自由。

A：各階平面図：1階平面図は、配置図を兼ねるものとし、近傍の環境も表現し、その建築がどのような環境の、どのような場所に建っているのか表現をすること。また、机、椅子など、家具類を描き込むこと。

B：断面図

C：その建築のなかでもっとも特徴となる開口部をひとつ選び、できるかぎり詳細に表現しなさい。

D：外観パース

E：内観パース

F：その他、その建築の表現として必要と思われるものを加えても構わない。

② A4判普通紙1枚に、設計趣旨について、またその建築において想定している機能について、具体的に記述しなさい。ダイアグラムなどを加えてもよい。

**【配布品】**

- ・提出用 A1判 ケント紙 1枚
- ・提出用 A4判 普通紙 1枚
- ・エスキス用 A3判 普通紙 3枚
- ・エスキス用 A2判 トレーシングペーパー 2枚
- ・着彩試し塗り用 A2判 ケント紙 1枚

受験番号	
------	--

令和3年度 東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻 修士課程選抜試験 [設計実技試験]

【解答用紙】② 設計趣旨